

地域や家庭と協同して育てる子ども

大野市阪谷小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	7回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ) 8日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	130人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	200人
その他(始業前の読み聞かせ)	30人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

6年生

ふるさと阪谷が抱える課題を知り、阪谷を活性化するために自分達ができることを考え、阪谷の良いところをPRする「ふるさとCM」を制作した。併せて、ポスターやパンフレットも作り、市内各所に配布して阪谷をPRした。

また、地元の行事を盛り上げようと、阪谷夏祭りに参加し、自分達が栽培したじゃがいもを使って模擬店を出店した。

4・5年生

地元の米作りに注目した。学校田の様子を、田植え前から食べるまでレポートした。

また、刈り取った稲の一部を天日で干し、自分達で脱穀、籾摺り、精米を行い、できた白米を試食した。

2・3年生

校区内にある牧場を訪問し、牛舎の掃除や乳搾り体験などを行った。

1・2年生

夏祭りや敬老会で、練習してきた太鼓演奏を披露した。

成果と課題

ふるさとに対して自分達ができることを考え、それを実行することができた。

学年に応じた取り組みで、ふるさとに愛着を持たせることができた。

地元の産業である農業について、これまで以上により深く知ることができた。